

「とってモーおいしい！みんなで調べるすき焼き調査」

そもそもなぜすき焼きを調べたの？

毎年恒例の新春企画ですが、今年は丑年にちなんですき焼きについて、展示会場でのアンケートによる参加型調査を行いました。実は、今回の調査のきっかけになったのが、平成24(2012)年度に行った「おせち料理プロジェクト」という調査です。「おせち料理プロジェクト」では、二重県内の小学3～4年生を主な対象として調査カードを配布し、2,794枚のカードが集まりました。その中で「おせち料理のほかにお正月に食べるもの」として、第2位になんとすき焼きがランクインしていたのです『二重のおせち料理ブック2013』！今回の新春企画の準備をしていた時にこの調査を思い出し、せっかく丑年だから、さらにすき焼きだけに絞った調査を試みてはどうだろう？ということで、今回の調査が実現しました。

年末年始にすき焼きを食べるのは東海だけ!?

ある調査会社では、年末年始の夕食で多いメニューを京浜・東海・京阪神の地域別に分析したところ、大晦日・お正月ともにすき焼きを食べているのは東海だけという結果が出ています。インテージ「大晦日・お正月の晩ごはん―地域ごとにどう違う？」<https://www.intage.co.jp/gallery/newyeardin/202>（2021年2月12日閲覧）。このデータだけでは断定できませんが、二重を含む東海地方で好んで食べられていることが推察できます。今回の調査でも、二重県内ですき焼きを年末年始に食べる方は73%、県外では56%と、似た傾向を見て取ることができました。すき焼きを年末年始に食べる習慣については、いつ頃から始まったのか、どの程度地域の広が

りがあるのか等の点について確かめられる資料が今のところ見つかっていません。すき焼きは、伝統的な二重の郷土料理と言うことはできませんが、牛肉の流通の歴史等を追っていけば、何かヒントが見つかるかもしれません。

すき焼き調査の結果発表！

今回の調査では、694枚のアンケートをお寄せいただきました。回答数は津市を含む中勢の方が多いです。

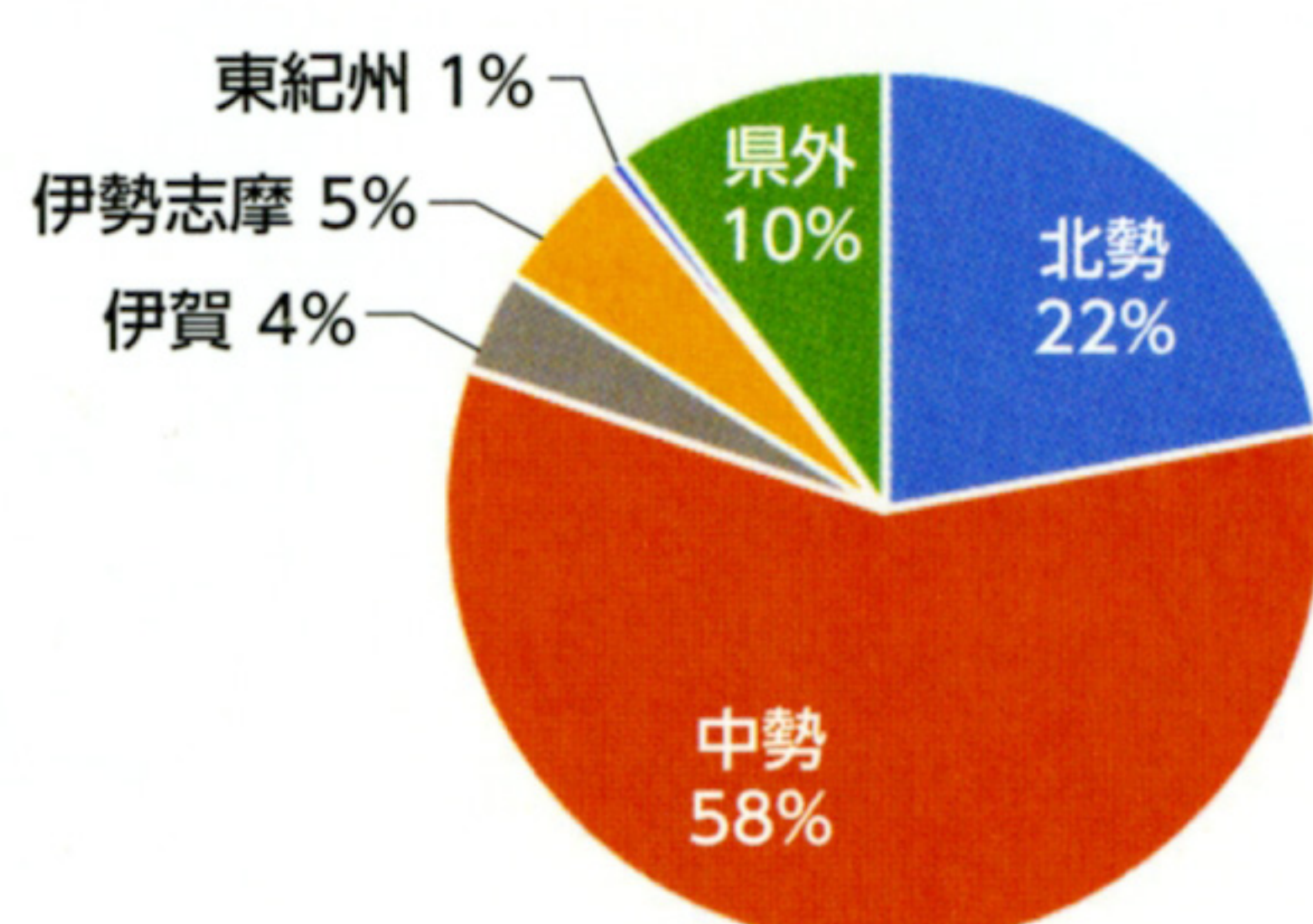


結果を館内でも展示しました

全体で71%の方が年末年始にすき焼きを食べると回答しています。そのうち、回答数が多い北勢と中勢に絞って、選ぶ牛肉のこだわりについて分析してみました。選択肢は二重の和牛（松阪牛・伊賀牛）・国産和牛・特になしという3択です。二重の和牛を選ぶ方が北勢（回答数 117）では31%に対して、中勢（回答数 295）では61%と大きな差が認められました。はっきりとした要因はわかりませんが、中勢には松阪牛の生産地が含まれること、松阪牛を取り扱う精肉店に行列して牛肉を買うことが風物詩になっていることなどが挙げられるかもしれません。いずれにせよ、二重の和牛が地元で愛されているのは嬉しいことです。

すき焼きにまつわるエピソードも募集したところ、地域によって特色のある具材や、出身地との調理法の違いなどもお寄せいただきました。すき焼きの鍋奉行は、なぜか男性陣が務めることが多いようです。甘くておいしいすき焼き、なんだか食べたくなってきましたね。

回答していただいた方の居住地（回答数 694）



中村千恵（なかむら ちえ）

博物館学が専門で、その中でも特に博物館を活用した教育活動に興味があります。博物館を利用することで、利用者の人生にどのような影響を与えるのか、長期的な視点で調べたり考えたりしたいと思っています。

